

真宗教団連合結成50周年共同宣言

私たち真宗教団連合は、結成より50年を迎えるにあたり、ここに宣言いたします。

- 1 私たちは、いのちあるすべての存在が互いに響き合う世界、誰一人取り残されることなく、共に生きることのできる世界を目指し、取り組んでまいります。
- 2 前項の目的を達するため、世界に開かれた真宗教団として共同し、各宗派間における情報交換や事業交流を進めるとともに、他団体とも広い協力関係を構築するよう、つとめてまいります。

現代は、自分を優先し、誰かが取り残されても仕方がないという考えへと人びとを動かす、厳しい時代にあります。この自分優先のあり方の中では、人は孤立し、何のために生きてきたのかと問い、人生への空しさを感じざるをえないことでしょう。

浄土真宗をお開きになった親鸞聖人は、「煩惱成就のわれら」という言葉で、煩惱によってしか成り立っていない、煩惱から逃れられない人間存在の姿をお示しになっておられます。そこに教えられているのは、私もあなたも同じ、煩惱から逃れられない「われら」であるという共感であり、この共感から、煩惱を減することなく煩惱の身のままに、共生への歩みが始まる、ということです。

現代に必要なのは、一握りの知患者ではなく、誰もが共に語り合うことができる、広やかな、豊かな人間関係の回復だと考えます。そして、その回復への起点にあるのが、悲しみや苦しみを抱えた「われら」という共感です。

私たちは、宗教者の責務として、現代に生きる人びとの苦悩に向き合い、共に生きることのできる世界を願って歩んでまいります。

平成30（2018）年4月18日